稲中ランチタイム通信



1 月 10 日(金)

『鏡開き』について

1月11日は、鏡開きです。鏡開きとは、新年に年神様をお迎えする時にお供えした鏡もちを下げていただく風習のことです。

鏡もちは、松の内(1月7日)まで飾っておき、松の内が過ぎたら鏡もちを下げて年神様を送ります。また、鏡もちを食べることで、年神様の力を分けてもらい、一年間の無病息災を祈願します。

今日の給食は鏡開きにちなみ、給食室で小豆から煮て、白玉をおもちに 見立てたおしるこにしました。小豆には魔除けや邪気払いの意味があり、 健やかに過ごせるよう意味が込められています。

手作りのおしるこを味わって食べましょう!

先生からの食育コメント

末広がりを意味する「開く」という言葉になりました。